**資料１**

グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）の取組の評価について

■外部評価委員（５名）で構成

村上　章　　氏

京都大学 大学院総合生存学館学館長

菊地　栄治　氏

早稲田大学 教育・総合科学学術院教授

浅野　良一　氏

環太平洋大学次世代教育学部 教授

姫野　勉 氏

外務省政府代表/特命全権大使（関西担当）

髙矢　葉子　氏

株式会社りそな銀行　執行役員

■毎年の評価

○評価審議会の開催

○委員による学校視察

○委員による校長ヒアリング

・各校独自の取組及び共通の取組を評価　⇒　評価結果公表

■3年間の総合評価

各年の取組評価および実績評価に基づき総合評価

　（AAA・ＡＡ・Ａ・Ｂ・Ｃ　５段階評価）

ＧＬＨＳとは、評価について

評価審議会

■事業目的：豊かな感性と幅広い教養を身に付け社会に貢献する志を持つ、知識を基盤とする  
これからのグローバル社会をリードする人材を育成する（平成22年３月教育委員会会議）

■評価項目



■　評価

○各校独自の取組の評価（取組評価）

・大項目ごとに２～３の取組を計画。小項目は教育庁が示す項目を参考に設定

・取組指標、取組指標の目標値、成果指標、成果指標の目標値を予め設定

→取組実績に基づき、各学校が自己評価（Ａ・Ｂ・Ｃ 3段階評価）

→評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AA・Ａ・Ｂ・Ｃ　４段階評価）

　○共通の取組の評価（実績評価）

・教育委員会が示した小項目に基づき、各校が成果指標を設定

→実績に基づき、各学校が自己評価（Ａ・Ｂ・Ｃ　3段階評価）

→評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AAA・AA・Ａ・Ｂ・Ｃ　５段階評価）

○毎年の総合評価

　 　　　各校独自の取組の評価（大項目ごとの４段階評価）

　　　　　　　　　　　　　+

　　　　共通の取組の評価（大項目ごとの５段階評価）

→　総合評価（AAA・AA・Ａ・Ｂ・Ｃ　５段階評価）

【参考】指定のスケジュール（平成23年度～令和８年度）



**育成されるべき力　　①　幅広い教養と高い専門性**

**②　高い志（社会貢献）と豊かな人間性**

**③　英語運用能力**